

# 読書は心の貯金箱②



令和2年 4月21日(火)  
天神山小学校教頭 森田 卓

昨日・本日の二日間、教科書受け渡しのためご来校いただきまして、本当にありがとうございました。新しい教科書を受け取ると、こんな状況でもなんだかウキウキ♪ワクワク♪するから不思議です。

教科書というとカタイ印象がありますが、教科書にはたくさんいいお話が載っています。ある意味ではとても優れた「読書教材」だと言えるでしょう。保護者のみなさまが子どもの頃に読んだお話が、現在も教科書に掲載されているものもあります。

もしお時間が許すのであれば、ぜひお子様の教科書を一緒に手に取っていただき、ともにページをめくっていただければと思います。子どもの頃とはまた違った感覚の「教科書」に出会えるようか気がします。

前置きが長くなって申し訳ございませんでした。

本日の「読書は心の貯金箱」は昨日の関根先生に続き、**本校こども支援 Co の樋口先生からオススメの一冊をご紹介します。**どんな一冊を紹介していただけるのかとても楽しみです♪

『だれも知らない小さな国』(佐藤さとる)

だれもいないはずなのに気配を感じたり、見られているような気がすることはないですか？

それはもしかすると、近くにコロボックルがいるからかもしれません。コロボックルは背の高さが3センチメートル位のこびと。

お話は戦争の前の日本。小学校3年生の時、自分だけの大事な秘密の場所で、コロボックルに出会うことから始まります。

今の生活の中にも、気がついていないだけでちがう世界があるのかもしれない…と、子どもの頃に大好きだったお話です。シリーズもたくさんあります。

いつかコロボックルに会いたいと思っている私から、お家にずっと居るみんなにオススメ本です。

